11

9

7

4

2

12

5

3

1

10

8

6

7アルペンシア・ジャンプセンター 8パブリックビューイング最終日には永井選手をはじめ複合日本チームに大声援を送りました（2月22日、田山スポーツ交流館）9⑩永井選手の応援にたくさんの地元の人が集まり、会場は大いに盛り上がりました（2月14日、田山スポーツ交流館）11オリンピックの機運を高めた雪だるま（田山スキー場入り口）12母校田山小出身永井選手のオリンピック代表入りを地域で喜びました（2月3日、田山小スキー大会）

1松尾中生徒全員で先輩に力強いメッセージを記しました（1月30日）2柏台小5・6年生が手作りの応援手旗を制作（2月1日）3小林両選手のジャンプに歓声が上がりました（2月10日、市役所多目的ホール棟）4次なるスターはこの中に！（三ケ田杯スキー大会、2月10日）5柏台小が制作した応援手旗を手に声援を送りました（2月17日、平昌）6日本から駆けつけた応援団が集結し、ジャンプ日本チームを応援（2月19日、平昌）

八幡平から平昌へ 熱冬！はちまんたい

平昌（ピョンチャン）オリンピックは2月9日に開会し、本市出身の小林潤志郎・陵侑選手がジャンプに、永井秀昭選手がノルディック複合に出場し、多くの市民が声援を送りました。

■パブリックビューイング

市は、3選手の競技日程に合わせ、パブリックビューイング（市内観戦会）を開催。観戦会場は、横断幕や手書きメッセージなどで飾られ、コールに合わせて、スティックバルーンを打ち鳴らす市民の熱気に包まれました。

■市応援団が平昌でエール

市は、観戦ツアーを企画し、約20人が16日に韓国入りしました。一行はジャンプラージヒル個人（17日）と同団体（19日）を観戦。小林両選手の母校である柏台小、松尾中の児童生徒が手作りした応援手旗や応援幕を持参し、現地でエールを送りました。17日に現地で観戦した田村正彦市長は帰国後「二人とも初めてのオリンピック出場だったが、よくやってくれた。これから4年間頑張って、日本を代表する選手に成長し、北京で活躍してほしい」と期待を込めました。

3選手の結果は以下のとおりです。

【大会結果】

●と○内の数字は順位

◇ジャンプ▼個人▽ノーマルヒル（2月10日）●小林陵侑入賞（1回目⑨・2回目⑦）㉛小林潤志郎
▼個人▽ラージヒル（17日）⑩小林陵侑 ㉔小林潤志郎
▼団体▽ラージヒル（19日）❻日本（竹内択、伊東大貴、葛西紀明、小林陵侑）入賞（1回目⑥・2回目⑥）
◇ノルディック複合▼個人▽ノーマルヒル（14日）⓮永井秀昭
▼個人▽ラージヒル（20日）⓬永井秀昭
▼団体▽ラージヒル（22日）❹日本（渡部善斗、永井秀昭、山元豪、渡部暁斗）入賞（前半飛躍③・後半距離⑦）

Pick Up! 応援人（おうえんびと）

競い高め合う二人の小学生ジャンパー

山本 宇宙（そら） 君（11）
＝兄畑＝

ジャンプを始めて、2シーズン目です。最初の頃は怖かったけど、今は飛んでいる時はとても気持ちがいいです。3選手と会うことができたら、オリンピックでジャンプしている時はどんな気持ちだったのか聞いてみたいです。3選手を目標に頑張ります。

工藤 琉翔（るか） 君（11）
＝苗石田＝

ジャンプをしている兄と姉がきっかけで小学校1年の時に始めました。オリンピックで飛んでいる八幡平市出身の選手を3人も見ることができて、とても楽しかったです。踏み切ってからの空中姿勢が難しいので、田山に来ることがあれば、教えてもらいたいです。

自作の応援ボードを手に観戦会で声援

畠山 春美 さん（76）
＝秋葉＝

小林兄弟、永井選手の応援ボードを自作し、応援しました。今でもジャンプの競技役員を務めていて、40年以上続けています。彼らが小さかった頃から頑張っている姿を見てきたので、オリンピックの大舞台で3選手の活躍を見ることができ、夢のようでした。

永井秀昭選手の同級生の想（おも）いを背負って

米川 拓也 さん（34）
＝松尾＝

田山中の同級生みんなに応援メッセージを呼び掛けました。観戦会に来ることができない同級生の想（おも）いを背負う気持ちでメッセージ入りのTシャツを作成。永井（秀昭）がオリンピックで頑張っている姿を見ることができて本当にうれしかったです。

彼らに続く選手の誕生に期待

三ケ田 礼一 さん（51）
＝田山上出身＝

平昌で観戦してきました。会場が盛り上がっていて、改めてオリンピックってワクワクする素晴らしい世界だと感じました。市出身選手が出場し、地元の子も身近に感じてくれたと思います。僕も！私も！と彼らを目指す子が、出てきてくれることを期待します。